

令和4年度決算

可茂衛生施設利用組合一般会計

財務書類4表

可茂衛生施設利用組合

目 次

貸借対照表【様式第1号】	1
行政コスト計算書【様式第2号】	2
純資産変動計算書【様式第3号】	3
資金収支計算書【様式第4号】	4
附属明細書【様式第5号】・注記	
・・・・・・・・・・・・・・・・	5～17

貸借対照表

(令和 5年 3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	7,005,467	固定負債	3,053,908
有形固定資産	6,453,307	地方債	2,278,748
事業用資産	4,495,243	長期未払金	770,071
土地	449,214	退職手当引当金	-
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	7,384,648	その他	5,089
建物減価償却累計額	△ 3,394,905	流動負債	528,345
工作物	795,014	1年内償還予定地方債	512,800
工作物減価償却累計額	△ 738,728	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	14,634
航空機	-	預り金	-
航空機減価償却累計額	-	その他	911
その他	-	負債合計	3,582,253
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	-	固定資産等形成分	7,561,410
インフラ資産	-	余剰分(不足分)	△ 3,431,537
土地	-		
建物	-		
建物減価償却累計額	-		
工作物	-		
工作物減価償却累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	-		
物品	16,899,625		
物品減価償却累計額	△ 14,941,561		
無形固定資産	-		
ソフトウェア	-		
その他	-		
投資その他の資産	552,160		
投資及び出資金	3,000		
有価証券	-		
出資金	3,000		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	-		
長期貸付金	-		
基金	549,160		
減債基金	-		
その他	549,160		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
流動資産	706,658		
現金預金	131,482		
未収金	-		
短期貸付金	-		
基金	555,942		
財政調整基金	555,942		
減債基金	-		
棚卸資産	19,234		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
資産合計	7,712,125	純資産合計	4,129,873
		負債及び純資産合計	7,712,125

行政コスト計算書

自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月31日

(単位:千円)

科目	金額
経常費用	2,944,335
業務費用	2,918,040
人件費	175,940
職員給与費	159,082
賞与等引当金繰入額	14,634
退職手当引当金繰入額	-
その他	2,224
物件費等	2,726,172
物件費	1,692,541
維持補修費	55,621
減価償却費	978,010
その他	-
その他の業務費用	15,928
支払利息	4,658
徴収不能引当金繰入額	-
その他	11,270
移転費用	26,296
補助金等	26,086
社会保障給付	-
他会計への繰出金	-
その他	210
経常収益	617,755
使用料及び手数料	492,459
その他	125,296
純経常行政コスト	2,326,580
臨時損失	0
災害復旧事業費	-
資産除売却損	0
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	671
資産売却益	671
その他	-
純行政コスト	2,325,909

純資産変動計算書

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月31日

(単位:千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	
		固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	4,205,685	7,753,170	△ 3,547,486
純行政コスト(△)	△ 2,325,909		△ 2,325,909
財源	2,250,000		2,250,000
税金等	2,250,000		2,250,000
国県等補助金	-		-
本年度差額	△ 75,909		△ 75,909
固定資産等の変動(内部変動)		△ 191,858	191,858
有形固定資産等の増加		557,230	△ 557,230
有形固定資産等の減少		△ 978,010	978,010
貸付金・基金等の増加		276,422	△ 276,422
貸付金・基金等の減少		△ 47,500	47,500
資産評価差額	-	-	
無償所管換等	97	97	
その他	-	-	
本年度純資産変動額	△ 75,812	△ 191,761	115,949
本年度末純資産残高	4,129,873	7,561,410	△ 3,431,537

資金収支計算書

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月31日

(単位:千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	1,968,637
業務費用支出	1,942,342
人件費支出	174,013
物件費等支出	1,752,401
支払利息支出	4,658
その他の支出	11,270
移転費用支出	26,296
補助金等支出	26,086
社会保障給付支出	-
他会計への繰出支出	-
その他の支出	210
業務収入	2,838,574
税込等収入	2,250,000
国県等補助金収入	-
使用料及び手数料収入	492,459
その他の収入	96,115
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	869,937
【投資活動収支】	
投資活動支出	867,854
公共施設等整備費支出	620,613
基金積立金支出	247,241
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	-
その他の支出	-
投資活動収入	48,171
国県等補助金収入	-
基金取崩収入	47,500
貸付金元金回収収入	-
資産売却収入	671
その他の収入	-
投資活動収支	△ 819,683
【財務活動収支】	
財務活動支出	502,605
地方債償還支出	502,225
その他の支出	380
財務活動収入	458,000
地方債発行収入	458,000
その他の収入	-
財務活動収支	△ 44,605
本年度資金収支額	5,650
前年度末資金残高	125,832
本年度末資金残高	131,482
前年度末歳計外現金残高	-
本年度歳計外現金増減額	-
本年度末歳計外現金残高	-
本年度末現金預金残高	131,482

【様式第5号】

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

①有形固定資産の明細

(単位：千円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
事業用資産	8,628,864	97	85	8,628,876	4,133,633	178,661	4,495,243
土地	449,214			449,214			449,214
立木竹							
建物	7,384,648			7,384,648	3,394,905	174,709	3,989,743
工作物	795,002	97	85	795,014	738,728	3,952	56,286
船舶							
浮標等							
航空機							
その他							
建設仮勘定							
インフラ資産							
土地							
建物							
工作物							
その他							
建設仮勘定							
物品	16,347,855	557,230	5,460	16,899,625	14,941,561	793,804	1,958,064
合計	24,976,718	557,327	5,545	25,528,501	19,075,194	972,465	6,453,307

②有形固定資産の行政目的別明細

(単位：千円)

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
事業用資産				4,495,243				4,495,243
土地				449,214				449,214
立木竹								
建物				3,989,743				3,989,743
工作物				56,286				56,286
船舶								
浮標等								
航空機								
その他								
建設仮勘定								
インフラ資産								
土地								
建物								
工作物								
その他								
建設仮勘定								
物品				1,958,064				1,958,064
合計				6,453,307				6,453,307

③投資及び出資金の明細

市場価格のないものうち連絡対象団体(会計)以外に対するもの

(単位：千円)

相手先名	出資金額 (A)	資産 (B)	負債 (C)	純資産額 (B)-(C) (D)	資本金 (E)	出資割合(%) (A)/(E) (F)	実質価値 (D)×(F) (G)	強制評価減 (H)	貸借対照表計上額 (A)-(H) (I)	(参考)財産に関する 調書起債額
株式会社 可茂環境センター	3,000	146,973	12,799	134,174	20,000	15	20,126		3,000	3,000
合計										

④基金の明細

(単位：千円)

種類	現金預金	有価証券	土地	その他	合計 (貸借対照表計上額)	(参考)財産に関する 調書記載額
財政調整基金	555,942				555,942	555,942
施設整備基金	385,394				385,394	385,394
合計	941,336				941,336	941,336

(2) 負債項目の明細

① 地方債（借入先別）の明細

(単位：千円)

種類	地方債残高	うち1年内償還予定		政府資金	地方公共団体金融機構	市中銀行その他の金融機関
【通常分】						
一般廃棄物処理事業	1,236,793	342,727	0		0	1,236,793
一般単独事業	1,390,959	125,002	0		0	1,390,959
【特別分】						
財源対策債	163,796	45,071	0		0	163,796
合計	2,791,548	512,800	0		0	2,791,548

②地方債（利率別）の明細

(単位：千円)

地方債残高	1.5%以下	1.5%超 2.0%以下	2.0%超 2.5%以下	2.5%超 3.0%以下	3.0%超 3.5%以下	3.5%超 4.0%以下	4.0%超	(参考) 加重平均 利率
2,791,548	2,791,548							

③地方債（返済期間別）の明細

(単位：千円)

地方債残高	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超 15年以内	15年超 20年以内	20年超
2,791,548	512,800	568,922	469,601	277,903	199,257	635,155	127,910		

④引当金の明細

(単位：千円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額		本年度末残高
			目的使用	その他	
賞与等引当金	12,707	14,634	12,707		14,634
退職手当引当金	△ 134,585			29,181	△ 163,766
合計	△ 121,878	14,634	12,707	29,181	△ 149,132

※退職手当引当金は、貸借対照表「投資その他の資産」に「その他(基金)」として表示している。

2. 行政コスト計算書の内容に関する明細

(1) 補助金等の明細

(単位：千円)

区分	名称	相手先	金額	支出目的
その他の補助金等	令和4年度可茂広域公平委員会共同設置負担金	可児市長 富田成輝	0	環境衛生
	令和4年度可児市財務会計事務負担金	可児市長 富田成輝	1,514	環境衛生
	令和4年度職員給与支給事務負担金	可児市長 富田成輝	1,400	環境衛生
	市道23号線舗装修繕に係る負担金	可児市長 富田成輝	4,646	環境衛生
	岐阜県市町村職員職員退職手当負担金	岐阜県市町村職員職員退職手当組合	12,635	環境衛生
その他	伊賀市、独立行政法人環境再生保全機構等	5,891	環境衛生	
	合計		26,086	

3. 純資産変動計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細

(単位：千円)

会計	区分	財源の内容		金額	
可茂衛生施設 利用組合	税収等	分担金及び負担金		2,250,000	
			小計	2,250,000	
	国県等補助金	資本的 補助金			
				計	
		經常的 補助金			
			計		
		小計			
		合計	2,250,000		

(2) 財源情報の明細

(単位：千円)

区分	金額	内訳			
		国県等補助金	地方債	税収等	その他
純行政コスト	2,325,909			1,322,813	1,003,096
有形固定資産等の増加	557,230		451,900	105,330	
貸付金・基金等の増加	276,422			276,422	
その他					
合計	3,159,561		451,900	1,704,565	1,003,096

4. 資金収支計算書の内容に関する明細

(1) 資金の明細

(単位：千円)

種類	本年度末残高
現金	60
要求払預金	131,422
合計	131,482

注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産

- ア 昭和59年度以前に取得したもの【再調達原価】
- イ 昭和60年度以後に取得したもの【取得原価】

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 出資金

- ア 市場価格のないもの【出資額】

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

① 事業系ごみ袋

- ア 先入先出法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産【定額法】※所有権移転ファイナンス・リース取引に係る資産も同様なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物	22年～47年
工作物	5年～50年
物品	2年～22年

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 退職手当引当金

退職手当債務から退職手当組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、退職手当組合における積立金額の運用益のうち可茂衛生施設利用組合へ案分される額を加算した額を控除した額を計上しています。なお、当年度においては前記金額が負となるため、当該超過額を投資その他の資産の「その他(基金)」に含めて計上しています。

② 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

- ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

- イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（釣銭）及び要求払預金及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(8) 物品の計上基準

① 自治法第239条に規定する物品のうち、需用費及び原材料費である物品を除いた物品の購入に要する経費を資産として計上しています。

(9) 資本的支出と修繕費の区分基準

① 固定資産の修理、改良等のために支出した金額のうち、固定資産の価値を高め、またはその耐久性を増すことになると認められる部分については固定資産として計上していません。

2 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

- ① 一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。
可茂衛生施設利用組合一般会計
- ② 地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数とします。
- ③ 千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。
- ④ 繰越事業に係る将来の支出予定額

区 分	金 額
繰越明許費(一般会計)	18,058千円

(2) 貸借対照表に係る事項

- ① 売却可能資産の範囲及び内訳は次のとおりです。
 - ア 範囲
公共財産のうち活用が図られていない公共資産
 - イ 内訳

事業用資産	48,900千円(54,179千円)
土地	48,900千円(54,179千円)

 - ・ 令和5年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。
 - ・ 売却可能価額は、固定資産税評価額を計上しています。
 - ・ 上記の括弧内の数字は、貸借対照表における簿価を記載しています。

(3) 純資産変動計算書に係る事項

- ① 固定資産等形成分
固定資産の額に流動資産における基金等を加えた額を計上しています。
- ② 余剰分(不足分)
純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(4) 資金収支計算書に係る事項

- ① 基礎的財政収支【54,912千円】
可燃ごみ処理施設の長寿命化工事等による投資的経費が増加したものの、施設使用料の収入が増加したことにより、黒字となりました。
- ② 既存の決算情報との関連性

単位：千円

	収入(歳入)	支出(歳出)
歳入歳出決算書(一般会計)	3,470,577	3,339,096
財務書類の対象となる会計の範囲の相違に伴う差額	0	0
繰越金に伴う差額	125,832	0
資金収支計算書	3,344,745	3,339,096

※ 歳入歳出決算書では繰越金を収入として計上しますが、公会計では計上しないため、その分だけ相違します。

- ③ 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額の内訳

資金収支計算書	
業務活動収支	869,937千円
棚卸資産増加	4,239千円
減価償却費	△ 978,010千円
賞与等引当金増減額	△ 1,927千円
資産徐売却益(損)	671千円
退職手当引当金増減額	29,181千円
純資産変動計算書の本年度差額	△ 75,909千円

- ④ 一時借入金
一時借入金の借り入れはありません。なお、一時借入金の限度額は200,000千円です。